

令和2年産(元年播)麦生育情報 No.4 (R2.3.23)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(次回は4月上旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成21~30年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
期間				
2月	上旬	平年並	やや多い	やや少ない
	中旬	かなり高い	少ない	かなり多い
	下旬	やや高い	やや少ない	平年並
3月	上旬	高い	多い	やや多い
	中旬	高い	かなり多い	やや少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5~1.0℃:やや高い(低い)、±1.0~2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
日照時間 <±5hr:平年並、±5~10hr:やや多い(少ない)、±10~15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
降水量 <±10mm:平年並、±10~20mm:やや多い(少ない)、±20~30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センターの3月13日時点での麦類作況調査では、11月5日播の「農林61号」、「ふくさやか」ともに、生育が早まっていることから、茎数は平年より少なく、草丈は平年よりかなり長く、葉数は1枚以上多い。葉数からみた生育の進展は、平年より2週間程度早いと見込まれる(表1および後掲グラフ)。

表1 令和2年産(元年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	2/14 調査			3/13 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢
農林61号	R2年産	740	33.2	6.8	600	53.0	8.5
	平年値	727	21.0	5.8	717	31.8	7.4
ふくさやか	R2年産	560	36.0	7.4	492	59.5	8.8
	平年値	666	19.3	6.0	663	31.5	7.7
(参考) びわほなみ	R2年産	932	33.9	7.6	664	59.5	9.1
	平年値	989	20.8	6.1	923	37.5	7.6

※播種日:令和元年11月5日。

※平年値:「農林61号」「ふくさやか」はH24~R元年産(H23~30年播)の8年間の平均値。

※「びわほなみ」は3ヶ年分(H28,H30,R1)のデータしかないため参考とした。

※播種量は8kg/10a条播(条間25cm)。

☆3月13日現在の小麦の生育状況（農技センター作況調査）



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

- 今作麦は、平年より生育がかなり前進しており、11月上旬播きの小麦や六条大麦ではすでに一部で止め葉が展開している。
- このため、草丈は平年より長く、茎数は早い時期から減少し始めていることから、平年より少なくなっている。

3 今後の管理

(1) 排水対策

- 排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行うなど、引き続き徹底した排水対策を講じる。

(2) 六条大麦の止葉出葉期追肥（麦茶用途を除く）

- 六条大麦では、止葉が出始めた頃（本年の農技センターでは3月20日頃）に窒素成分で2kg/10a程度施用する。なお、例年は4月中旬までの施用としているが、今作は高温により生育が進んでおり、3月中に施用する必要がある。施用時期が遅れると硝子粒の発生が多くなるので注意する。

○基肥一発体系の場合は止葉出葉期追肥を施用する必要はないが、**分施肥体系の場合は早急に施用する。**

(3) 小麦の実肥

○小麦の実肥は、**開花期（出穂 10 日後頃）に窒素成分で 3 ～ 4 kg/10a 施用する。**

（留意点）

- ① 3 月中旬時点で生育は平年より 2 週間程度早く進んでおり、向こう 1 か月の気温も平年より高くなる確率が 80%と予想されていることから、**出穂期は平年よりさらに早くなる**ことが予測される。
- ② 3 月中旬時点では**実肥施用適期は 11 月上旬播種「農林 61 号」で 4 月中旬と予測**しているが、播種時期や地域により生育に大きな差があるので、気象予報に注意を払いながら、麦の出穂、開花状況をよく見て対応する。
- ③実肥施用量は、**茎数が多いほ場（約 300 本/㎡以上）では窒素成分で 4 kg/10a とし、それより少ないほ場では 2 ～ 3 kg/10a に減らす。**
- ④ 3 月下旬～4 月上旬に葉色が淡く茎数が少ない場合は、収量を向上させるために出穂 7 日前（走り穂が出る直前頃）に窒素成分で 2 kg/10a 程度追肥し、さらに出穂 10 日後（開花期）に 2 ～ 4 kg/10a の実肥を施用する。

(4) 赤かび病防除

○小麦および六条大麦では**開花始め～開花期に、二条大麦では穂揃い 10 日後頃**に農薬を散布する。

○散布後降雨が続く場合は、1 回目の散布 1 週間後頃に追加防除を行う。

（留意点）

今作は生育が進んでいるため、**開花期は平年より早くなると予想**される。麦の出穂、開花状況や天候等に注意を払いながら適期防除に努める。なお、「**びわほなみ**」は赤かび病に弱く、「**農林 61 号**」より開花時期が 3 ～ 4 日早いので、防除が遅れないよう注意する。

【参考】麦類作況調査における出穂期・開花期・成熟期の平年値

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

	農林61号		ふくさやか		びわほなみ		サチホゴールド	ファイバースノウ
基準播種日	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/5
出穂期	4/17	4/23	4/14	4/22	4/10	4/17	3/30	4/16
開花期	4/27	5/1	4/25	4/27	4/21	4/25	-	4/22
成熟期	6/4	6/7	6/1	6/4	5/30	6/3	5/19	5/26

※平年は、「農林61号」、「ふくさやか」、「ファイバースノウ」は8年間（2012～2019年産）、「サチホゴールド」は7年間（2012～2016、2018～2019年産）「びわほなみ」は11/5播種が4年間（2016～2019年産）、11/20播種が3年間（2016、2018～2019年産）の平均値。

【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nougicenter/>

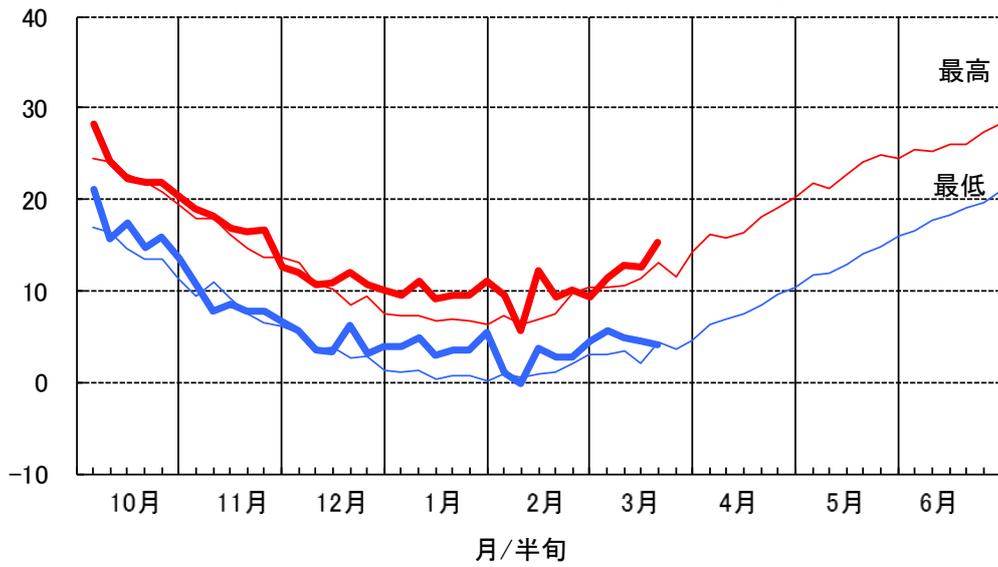
病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/boujyo/>

彦根地方气象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

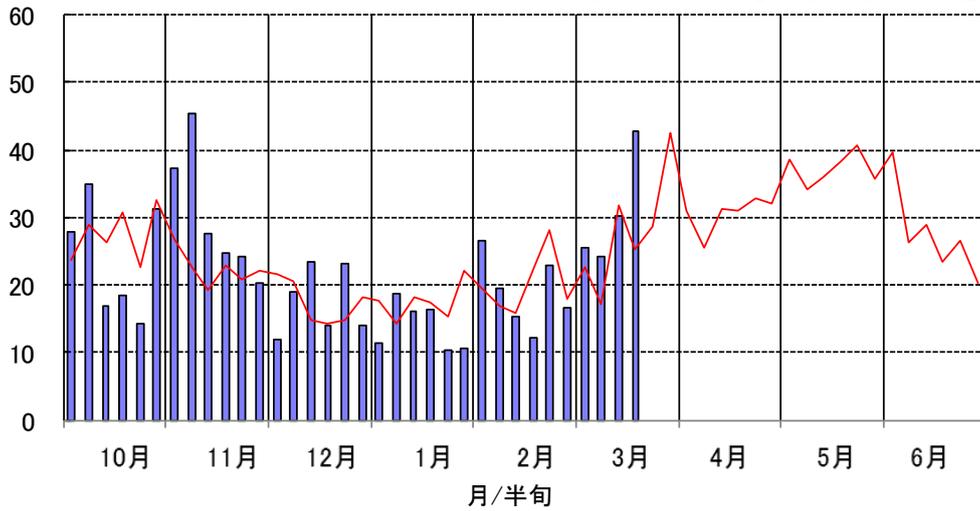
令和2年産(令和元年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(令和2年産) 折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



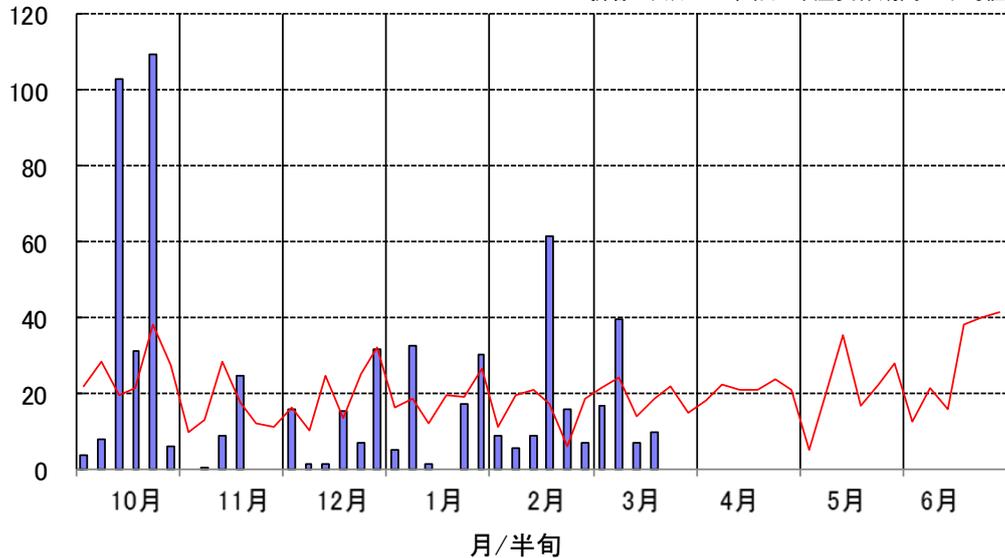
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和2年産) 折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

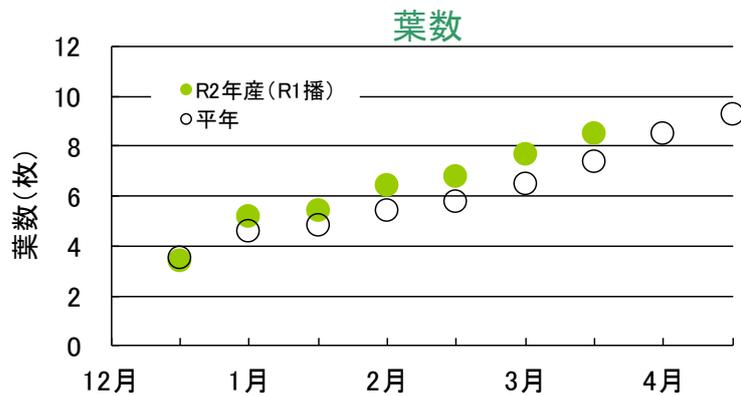
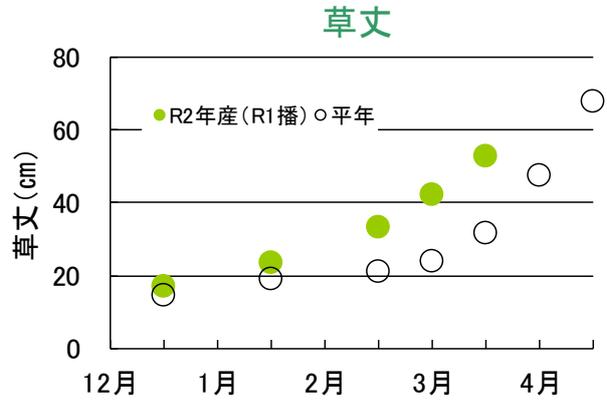
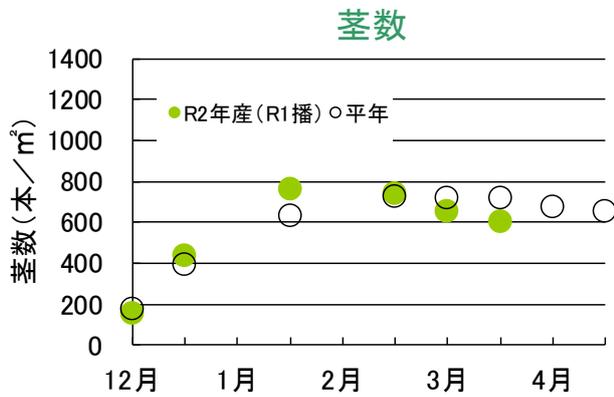
棒線: 本年(令和2年産) 折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



令和2年産生育調査結果（1）

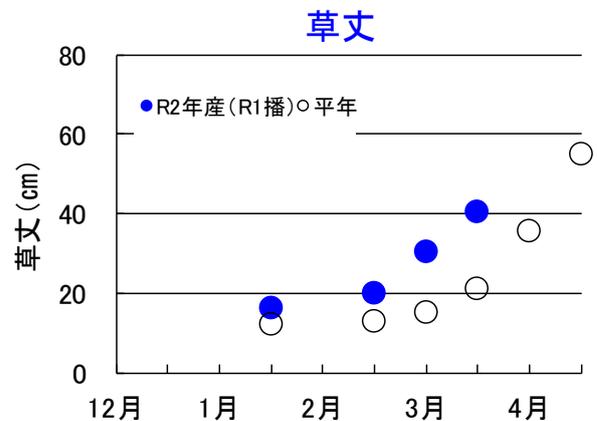
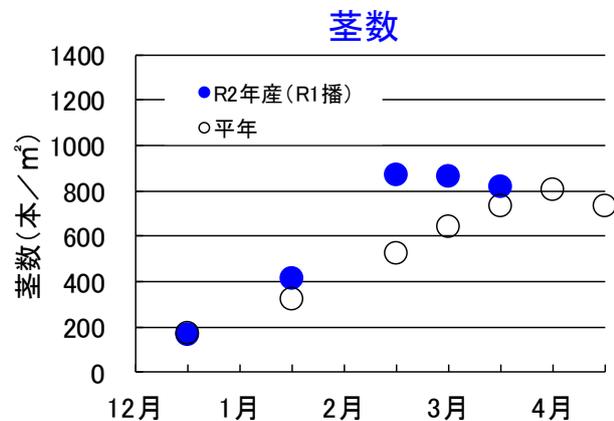
「農林61号」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播

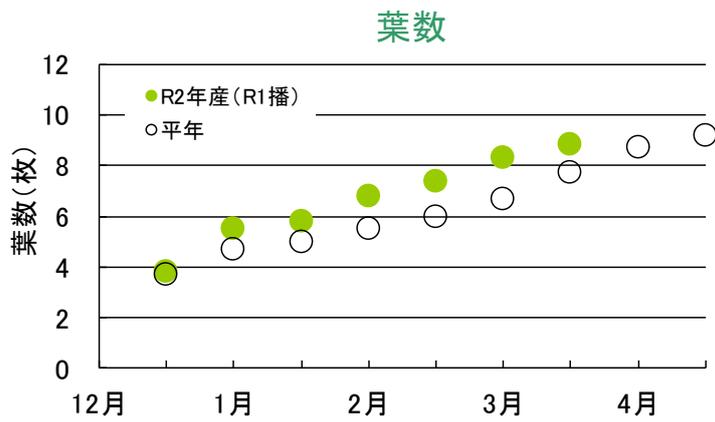
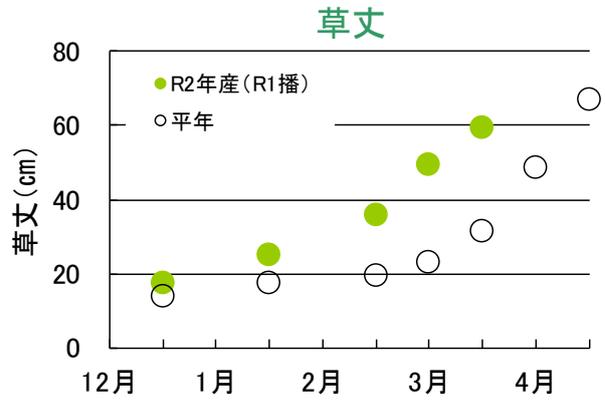
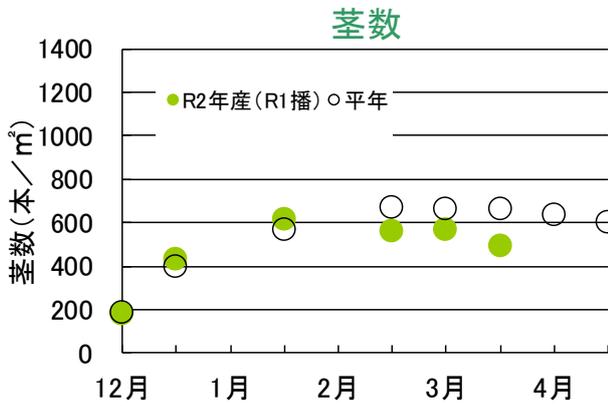


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～30年産(平成23～29年播)の7年間の平均値。

令和2年産生育調査結果（2）

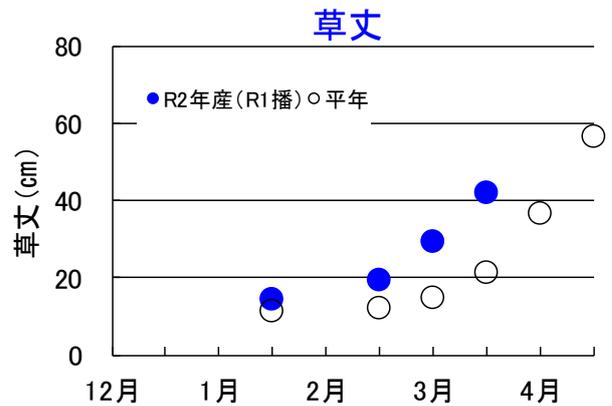
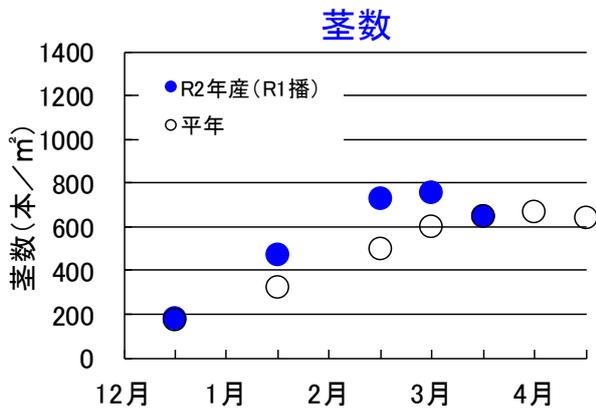
「ふくさやか」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播

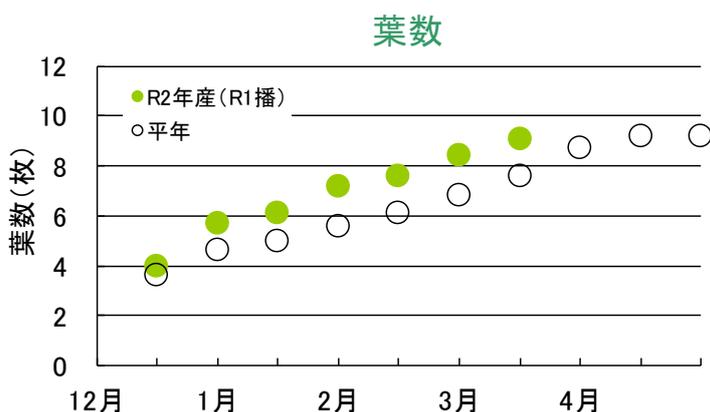
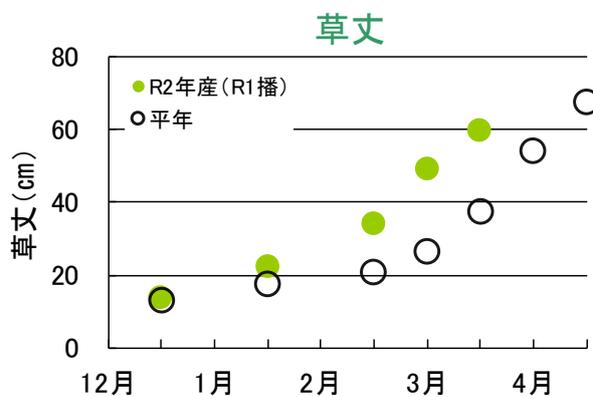
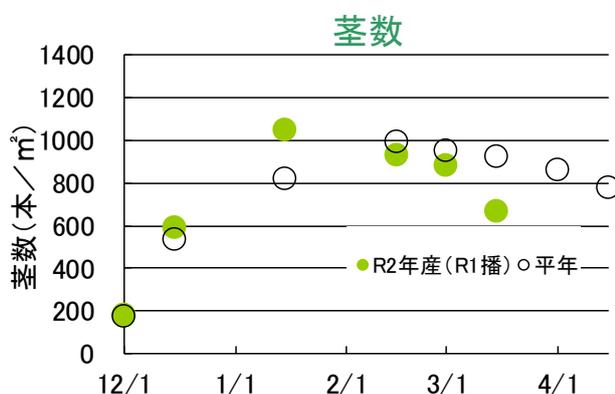


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～30年産(平成23～29年播)の7年間の平均値。

令和2年産生育調査結果（3）

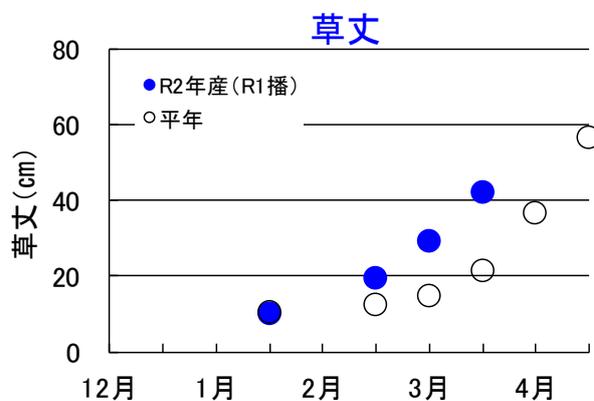
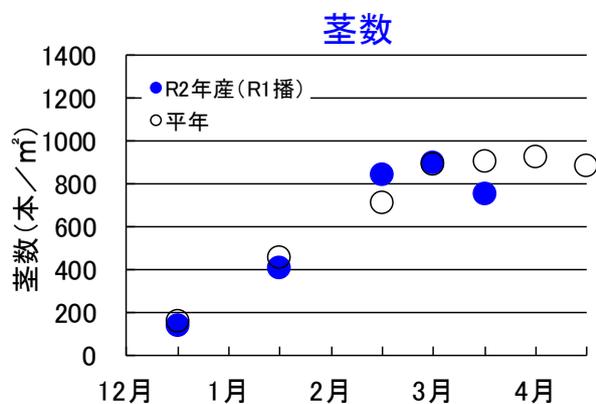
「びわほなみ」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30,令和元年産(平成27,29,30年播)の3年間の平均値。